

代表 2

受 令和 4 年 2 月 22 日
付 (午前)・午後 9 時 00 分

一般質問 (代表)・個人) 通告書

令和 4 年 2 月 22 日

尾張旭市議会議長 殿

市民 777

氏 名 早川八郎

尾張旭市議会会議規則第 50 条第 1 項の規定により 3 月定例会において別紙のとおり質問したいので通知します。

なお、質問事項の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1 質問事項 12 件

2 質問方法

	1 回目 一括質問、一括答弁 再質問以降 質問事項 (大項目) ごとの一問一答
<input checked="" type="radio"/>	1 回目から 質問事項 (大項目) ごとの一問一答

↑ 選択する方法に○を付す。



質問事項 No. <u>1</u>	この3年間の市長の歩みについて
要 旨	<p>3年間の取組と残り1年の任期の取り組み方について、以下伺う。</p> <p>(1) この3年間の市長の歩みについて この3年間の中心は、コロナ対応に追われていたと想像しますが、本来計画していて、やれたこと・やれなかったことについて伺う。</p> <p>(2) 残り任期1年の歩みについて 残り1年をどのように行政をリードしていくのかを伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>2</u>	令和4年度の予算編成について
要 旨	<p>令和4年度の予算は、時代の大きな変革期ととらえ、「次世代につながる」をキーワードに進めていると思う。そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 「次世代につながる」について</p> <p>移り変わりの激しい時代に対応する未来型の予算編成とのことだが、どのような時代を迎えると想像しているのかを伺う。</p> <p>(2) 予算編成のビジョンについて</p> <p>人が前に進むには、その先にたとえ小さくても明るい光をみつけると希望を持つことができ、勇気・元気・やる気を持って進むことができると思う。そこで、市長は今回の予算編成では、どのような光を市民にあてているのかを伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. 3	財政向上への運営について
要 旨	<p>令和4年度実施計画にある一般財源の歳入では、これからの3年間の財政の見通しは、約1%程度の増加を見込んでいる。そこで、将来の財政力強化について以下伺う。</p> <p>(1) 財政力の評価について</p> <p>現時点の本市の財政力は、市長として満足するものなのか。または、テコ入れする必要があると感じているのかを伺う。</p> <p>(2) 歳入と歳出の取組について</p> <p>市民生活の利便性や質の向上への取組（歳出）については、ハード面ソフト面ともに日進月歩を感じるが、財政力強化（歳入）という視点では前年踏襲的な財政運営と感じる。</p> <p>そこで、財政力をアップするために、消費的発想の運営から投資的発想にもう少し力を入れる必要があるのではないか？</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>4</u>	医療・福祉政策について
要 旨	<p>市民全体が健康で安心して暮らしていけるように、みんなで支え合う健康のまちづくりを目指していると思う。そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 健康で安心して暮らせる医療について</p> <p>市民の健康で安心した生活を担保するには、「治療」と「予防」を同時進行していかなければならない。しかし、どうしても予防は後回しになりがちである。そこで、本市の予防的発想の医療強化について伺う。</p> <p>(2) 健康で安心して暮らせる福祉について</p> <p>福祉政策では、与えることを中心に取り組んでいるが、本来自立することが最も大切である。その点をどのように強化していくのかを伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. 5	こども・子育ての未来について
要 旨	<p>こども・子育てについては、本市にとって重要施策の一つと考える。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) こども・子育ての取組の効果について</p> <p>こども・子育ての取組は重要施策の一つと考えるが、ただ何となくこの事業を進めているのでは、意味がない。この取組を進めることで、将来本市は、具体的にどのように向上していくことを想像しているのかを伺う。</p> <p>(2) 子育て世代への取組と人口増加について</p> <p>少子高齢化に伴い、各自治体は子育て世代への手厚い取組をしている。それが功を奏して、人口増加に至っている自治体もある。ただ、与えるばかりの取組では、スーパーの安売り合戦的な構造になってしまうと感じる。そこで、市長が描く将来の子育て像を伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>6</u>	学校教育と大人の生涯学習について
要 旨	<p> コロナ禍を経験した今、教育・生涯学習の在り方が大きく変化した。今後 も予想もつかない変化に対応しなければならない時代になることも想像でき る。そこで、以下について伺う。 </p> <p> (1) コロナ禍と学校教育の在り方について </p> <p> コロナ禍を経験し、今後の学校教育は新しい局面に対応していかなけれ ばならないと感じる。そこで、この経験を生かしたハード面・ソフト面に おける新しい学校教育の在り方（ポジティブ的発想）について伺う。 </p> <p> (2) コロナ禍と大人の生涯学習の在り方について </p> <p> 子どもたちと同じく、文化やスポーツを楽しむ機会が奪われ、その活動 も制限されたことで、活動人口が下降傾向ではないかと感じる。 </p> <p> そこで、この経験を生かしたハード面・ソフト面における新しい大人の 生涯学習の在り方（ポジティブ的発想）について伺う。 </p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>7</u>	都市基盤と本市の未来像について
要 旨	<p>都市基盤整備をすることは、本市の明るい未来に対する投資的発想と考える。そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 駅前周辺整備と本市の未来について</p> <p>駅前周辺整備は、本市の未来像を語る上では、具体的でわかりやすいと思う。しかし、その費用はとてつもなく高額で、費用対効果が見込まれるかが最大の焦点である。駅前周辺整備の近未来の都市像だけでなく、これをきっかけに本市がどのように素晴らしいまちへと変貌していくのかを市民にもっと具体的に見せる必要があると思う。そこで、近未来ではなく、将来の本市がどのように素晴らしいまちへと進むきっかけの整備計画になっていくのかを伺う。</p> <p>(2) 尾張旭市長久手市衛生組合解散に伴う本市の下水道整備について</p> <p>本年3月をもって尾張旭市長久手市衛生組合が解散する。長きに渡ってその役割を終えることになるのだが、それに伴い本市の下水道整備の影響と未来の姿をどのように描いているのかを伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. 8	企業等へのサポート事業について
要 旨	<p>コロナ禍において、中小企業や飲食店など大きな影響を受けたところは多く、まだまだ先が見えない状態である。そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 企業等のサポート事業について</p> <p>大手企業であつてもコロナ禍では、補助金頼みの経営での黒字化というところもあるが、中小企業やフリーランスの方たちはそれ以上に切実なところもある。そこで、本市は、このような企業や事業者をどのようにサポートしていくのかを伺う。</p> <p>(2) コロナ収束後の事業者の未来について</p> <p>現在は、補助金等で事業継続が出来ているところもあるが、コロナ収束後は今以上の危機を迎える可能性を秘めていると感じる。これらの課題について、本市はどのように考えているのかを伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>9</u>	変革する時代と消防・防災の対応について
要 旨	<p>消防防災においては、予想をはるかに超えた事態にも備えないといけないと感じる。過去の経験や今後の起こりうると予想される事態についてどのようなことをすることで、未来の安全安心を描いているのかを伺う。</p> <p>(1) 現状の改善しなければならない点について</p> <p>(2) 今後必要と思われる設備やシステム等について</p> <p>(3) 本市の安心安全の未来像について</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>10</u>	コロナ禍の経験を生かすについて
	<p>この2年間行政は、「新型コロナウイルス感染拡大」という非常事態に見舞われた。この経験を将来に生かすことが大切である。</p> <p>そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 今までやってきたことについて 取り組んできたことについて伺う。</p> <p>(2) 現在の最重要課題について</p> <p>(3) 将来への取組について この経験を生かし、将来にわたってやっていかなければならないことや変化していかなければならないこと、そして、行政としてなかなか行動できないが、やめることについて伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>11</u>	基金の在り方について
	<p>本市の基金には様々な枠組みがあり、その目的や用途を鑑みて運用に努めていると思う。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 基金の全体像について 基金運用の方向性とその実行意図について伺う。</p> <p>(2) 本来あるべき基金の姿について 基金の流れを見ていくと、前年踏襲的な運用がなされているのではないかと感じる。その考えは、金額ありきなのか？将来使うべき目的のためなのか？余ったから、何となく積み立てているのか？その意図が見えない部分があると感じる。そこで、本来あるべき基金の姿は何なのかを伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>12</u>	今までの50年これからの50年
	<p>今回の予算編成や施政方針から読み取ると、公共施設等のハード面においては、「長寿命化」というワードであり、ソフト面においては、コロナ禍の経験により、「時代の変化に対応」ということと感じた。</p> <p>そこで、本市の今までの50年を取りまとめ、これからの50年を市長としてどんな未来につなげていくのかを伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。